

科目ナンバリングの導入

科目ナンバリングの導入目的

- ①各部局において順次性のある体系的な教育課程を構築・確認することができ、カリキュラムの改善のきっかけとなる。
- ②学生にとっては学修したい分野について、どのように学修を進めていけば良いか明確になり、体系的な学修を進めることが可能となる。
また、学修したい授業科目の検索を容易にする。
- ③海外大学と同様のナンバリングコードを付与することにより、海外大学と授業のレベルが比較が可能となる。

ナンバリングコード

AREA t TGET x pqr W

授業の分野

規則性のある
4文字で示す。

授業形態

- 0: 講義
- 1: 演習
- 2: 実験, 実習, 実技
- 3: PBL
- 4: e-learning
- 5: その他

対象学生

全学部
理系学部生
文系学部生
各学部の全学生
等々

授業のレベル

- 0: 入門レベル
- 1: 1年生レベル
- 2: 2年生レベル
- 3: 3年生レベル
- 4: 4年生レベル
- 5: 4年生と修士学生の合同レベル
- 6: 修士学生レベル
- 7: 博士学生レベル

識別番号

各授業科目
の一意に識別
するための番号

・001～付番

特別な注意

「その授業科目を履修するためには、ある授業科目の単位を修得済みであること」等、その授業科目を履修するに際して、特別な注意が必要であるかどうかを知らせる。

学部・大学院にとって

科目ナンバリング

学生にとって

学生にとって

カリキュラム改善のきっかけとなる

- ・順次性のある体系的な教育課程を構築・確認することができ、カリキュラムの改善のきっかけとする。

体系的な学修を進めることが可能

- ・学修したい分野について、どのように学修を進めていけば良いか明確になり、体系的な学修を進めることが可能となる。
- ・学修したい授業科目の検索を容易にする。

海外大学と授業のレベルが比較可能

- ・海外大学と同様のナンバリングコードを付与することにより、海外大学と授業のレベルが比較可能となる。